



Global Report

特別版 2009年 6月

退職給付会計の基礎率に関する国際調査

この報告は、従業員給付制度の2008年度決算に使用された基礎率に関する、ヒューイット・アソシエイツ国際調査の結果を報告するものである。今回の調査より調査対象として、ブラジル、インド、インドネシア、フィリピンの4カ国が加わった。調査結果は、2009年度決算および2010年度予算のために、暫定的な基礎率を決定しようとしている会社にとって有用なものとなる。

注目すべきは以下の点である。

- 米国の優良社債の利回りは、2008年12月末から2009年3月までに、50から75ベースポイント上昇したが、英国やユーロゾーンでは大きな上昇ではなかった。
- 将来の死亡率改善を見込んだ死亡率表を使用する傾向は続いている。米国においては、将来の死亡率の改善を見込んだ死亡率表を使用する企業の割合は、2007年度末の35%から、2008年度末では55%に上昇した。
- 歴史的には、多くの企業がひとつの指標のみを参照して割引率を決定してきた。SECからの通達や監査人からの指導により、より多くの企業が、イールドカーブの形状を考慮して割引率を決定している。イールドカーブを使用して、予測給付を割り引いている場合が多くなっている。
- 上述したように、割引率の決定にイールドカーブを使用する割合が増えている。これにより、選択される割引率の分布幅が小さくなることを期待する者もいるだろう。しかしながら、イールドカーブに、金融機関が発行した比較的高い利回りの債権を含めるかどうかについて、企業が異なる立場を取ったため、実際には分布幅は大きくなった。

背景

この調査では、ヒューイットの顧客およびコンサルタントから、2008年度決算に使用された基礎率情報を収集した。昨年度と同様に、米国の情報は、顧客からの情報のみに基づいており、フォーチュン500の調査は含まれていない。

従来の調査同様、米国会計基準、英国会計基準、国際会計基準および基礎率設定に関して類似の要件を持つ他の会計基準に基づき選択された、次の4つの経済的基礎率を主に取り上げている。

- 割引率
- 長期期待収益率
- 昇給率
- 年金増加率(一部の国のみ)

報告された測定基準日の大多数は2008年9月30日～2008年12月31日の範囲である。

2008年度末の割引率

国	2007年度末の 平均	2008年度末の 平均
ブラジル	N/A	11.98%
カナダ	5.48%	6.94%
ユーロゾーン	5.20%	5.88%
オーストリア	5.21%	5.74%
ベルギー	5.24%	5.89%
キプロス	5.24%	5.64%
フランス	5.15%	6.05%
ドイツ	5.25%	6.09%
ギリシャ	4.99%	5.74%
アイルランド	5.34%	5.86%
イタリア	5.09%	5.44%
オランダ	5.32%	5.84%
ポルトガル	5.17%	5.71%
スペイン	5.14%	5.61%
インド	N/A	7.79%
インドネシア	N/A	12.55%
日本	2.13%	1.96%
メキシコ	8.00%	8.31%
ノルウェー	5.07%	4.70%
フィリピン	N/A	10.18%
ポーランド	5.66%	5.87%
韓国	6.63%	7.54%
スウェーデン	4.42%	3.18%

国	2007年度末の 平均	2008年度末の 平均
スイス	3.52%	3.17%
台湾	2.82%	2.26%
英国	5.82%	6.30%
米国	6.28%	6.47%

全体的な割引率の傾向は、25から75ベースポイントの上昇である。

上に示した値は、すべての引退後給付制度（年金、引退者医療、中途退職者給付）に加えて、長期勤続休暇や長期勤続表彰制度のような勤務中給付制度の評価で使われた割引率の平均である。いくつかの国については、平均割引率は、制度の種類によって差がある。これは、勤務中給付制度や中途退職者給付制度では、支払いまでの期間が短いことが反映されていると考えられる。

- オーストリア—中途退職者給付制度の割引率は、年金制度のものより約10ベースポイント低い。
- ドイツ—長期勤続休暇制度の割引率は、年金制度のものより約40ベースポイント低い。
- オランダ—長期勤続休暇制度の割引率は、年金制度のものより約30ベースポイント低い。

ある会社の割引率を上記の率を比較する際には、その会社の債務の長さが調査対象となった制度の債務の長さとは違う可能性があることに、留意が必要である。

長期期待収益率

国	2007年度末の 平均	2008年度末の 平均
ブラジル	N/A	9.61%
カナダ	7.05%	6.94%
ユーロゾーン	5.27%	5.47%
オーストリア	4.51%	5.26%
ベルギー	5.13%	5.12%
キプロス	5.80%	6.12%
フランス	4.73%	4.98%
ドイツ	5.46%	5.65%
ギリシャ	4.58%	4.95%
アイルランド	6.74%	6.66%
オランダ	5.33%	5.52%
ポルトガル	5.47%	5.90%
スペイン	4.48%	4.17%
インド	N/A	8.36%
日本	3.04%	2.78%
メキシコ	9.11%	7.89%

国	2007年度末の 平均	2008年度末の 平均
ノルウェー	5.70%	5.95%
フィリピン	N/A	7.72%
韓国	4.71%	4.98%
スウェーデン	6.04%	6.13%
スイス	4.53%	4.52%
台湾	3.06%	3.01%
英国	6.83%	7.96% / 5.42%
米国	8.20%	7.98%

英国については、今年度の調査では資産クラスによる結果を示した。株式の収益率は 7.96%、債権の収益率は 5.42%であった。

多くの国で、長期期待収益率に大きな変化がなかった。しかしながら、米国では顕著な減少があった。

上記の長期期待収益率は、調査対象となった制度の資産構成を反映したものである。各社の長期期待収益率と調査結果を比較する際には、資産構成に違いがある可能性を考慮すべきである。

昇給率

国	2007年度末の 平均	2008年度末の 平均
ブラジル	N/A	7.17%
カナダ	3.74%	3.65%
ユーロゾーン	3.08%	3.16%
オーストリア	3.19%	2.94%
ベルギー	3.45%	3.61%
キプロス	5.85%	5.75%
フランス	2.75%	3.34%
ドイツ	2.85%	2.67%
ギリシャ	4.12%	4.10%
アイルランド	3.75%	3.41%
イタリア	3.16%	3.15%
オランダ	2.86%	2.57%
ポルトガル	2.77%	2.57%
スペイン	2.89%	3.22%
インド	N/A	7.82%
インドネシア	N/A	5.28%
日本	2.64%	2.52%
メキシコ	5.09%	5.59%
ノルウェー	3.90%	3.93%

国	2007年度末の 平均	2008年度末の 平均
フィリピン	N/A	8.12%
ポーランド	3.37%	3.75%
韓国	5.71%	6.02%
スウェーデン	3.12%	3.04%
スイス	2.31%	2.24%
台湾	3.25%	3.26%
英国	4.44%	3.99%
米国	4.35%	4.43%

全体としては、昇給率に変化は少なかった。給与上昇の見込みに下げ圧力のある現在の経済状況を反映してか、昇給率に低下傾向が見られる場合がある。

上記の昇給率は、調査対象となった各企業独自の状況を反映したものである。各社の状況は調査対象となった企業とは異なる可能性があり、異なる昇給率が適正である可能性がある。

年金増加率

国	2007年度末の 平均	2008年度末の 平均
ユーロゾーン	1.84%	1.93%
ドイツ	1.81%	1.88%
アイルランド	2.36%	2.38%
オランダ	1.65%	1.61%
ノルウェー	2.10%	2.14%
スウェーデン	2.01%	1.91%
スイス	0.66%	0.57%
英国	3.22%	2.96%

英国を除けば、2008年度決算において各企業が選択した年金増加率は、2007年度決算で選択された率と大きな差はなかった。

* * *

本調査および退職給付債務評価業務に関する詳しい情報は、下記までお問い合わせください。

ヒューイット・アソシエイツ株式会社
東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 24 階
年金数理人 松原 良
電話: 03-4580-2360.(代)
E-mail : Ryo.Matsubara@hewitt.com